

菊池広域連合告示第7号

菊池広域連合財政事情の公表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第1項及び菊池広域連合財政事情公表に関する条例（平成10年菊池広域連合条例第23号）第2条第1項の規定に基づき、菊池広域連合財政事情を別紙のとおり公表する。

平成29年12月1日

菊池広域連合長 荒木 義行



# 菊池広域連合の財政事情

平成29年12月1日公表

## 目 次

まえがき	-----	1
1 平成29年度上半期における一般会計の執行状況	-----	2
2 平成29年度 構成市町負担金の状況	-----	3
3 広域連合財産の状況	-----	4~5
4 平成28年度における一般会計決算の状況	-----	6~13

## ま え が き

ここに公表します「財政事情」は、菊池地域住民の皆様には、広域連合の財政事情をお知らせすることにより、広域連合財政の実態と主要な施策についてご理解をいただき、管内市町の発展についてご理解・ご協力を得るためのものです。

今回は、平成29年度上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日）における一般会計の執行状況、平成28年度における一般会計決算の状況などを主な内容としております。

## 1. 平成29年度上半期における一般会計の執行状況

### 1) 歳入

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額	現計予算額	収入済額	収入未済額	収入率
1 分担金及び負担金	2,180,155	0	2,180,155	1,744,124	436,031	80.0
2 使用料及び手数料	29,852	0	29,852	14,359	15,493	48.1
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	0.0
4 県支出金	6,415	0	6,415	0	6,415	0.0
5 財産収入	181	0	181	33	148	18.0
6 繰入金	91,095	1,818	92,913	0	92,913	0.0
7 繰越金	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
8 諸収入	1,213	0	1,213	1,071	142	88.3
9 連合債	78,700	0	78,700	0	78,700	0.0
<b>歳入合計</b>	<b>2,394,611</b>	<b>1,818</b>	<b>2,396,429</b>	<b>1,759,587</b>	<b>636,842</b>	<b>73.4</b>

### 2) 歳出（目的別）

(単位：千円、%)

予算項目 款名称	当初予算額	補正予算額	現計予算額	執行済額	残 額	執行率
1 議会費	4,541	0	4,541	191	4,350	4.2
2 総務費	79,444	180	79,624	17,990	61,634	22.6
3 民生費	54,938	32	54,970	8,658	46,312	15.7
4 衛生費	276,958	154	277,112	66,776	210,336	24.1
5 消防費	1,605,926	1,452	1,607,378	697,430	909,948	43.4
6 公債費	365,804	0	365,804	105,182	260,622	28.8
7 予備費	7,000	0	7,000	0	7,000	0.0
<b>歳出合計</b>	<b>2,394,611</b>	<b>1,818</b>	<b>2,396,429</b>	<b>896,226</b>	<b>1,500,203</b>	<b>37.4</b>

## 2. 平成29年度構成市町負担金の状況

### 1) 市町負担金の状況

(単位：千円、%)

予算項目 市町村	当初予算額	補正予算額	現計予算額	収入済額	収入率
菊池市	777,614	0	777,614	622,091	80.0
合志市	586,351	0	586,351	469,081	80.0
大津町	416,272	0	416,272	333,018	80.0
菊陽町	399,918	0	399,918	319,934	80.0
合 計	2,180,155	0	2,180,155	1,744,124	80.0

### 2) 市町負担金の内訳

(単位：千円)

負担金項目 市町名	管理費	調査 研究費	研修費	介護 保険費	火葬 場費	し尿 処理費	消防費	障害者総 合支援費	無縁仏 納骨堂費	総 計
菊池市	17,798			18,309	9,261	251,861	475,471	4,914	0	777,614
合志市	21,212			13,942	11,038	44,354	491,319	4,486	0	586,351
大津町	12,874			7,946	6,699	89,461	296,870	2,422	0	416,272
菊陽町	15,395			7,547	8,011	32,921	333,544	2,500	0	399,918
合 計	67,279	0	0	47,744	35,009	418,597	1,597,204	14,322	0	2,180,155

### 3. 広域連合財産の状況

#### 1) 土地及び建物

##### (1) 土地（地積）

(単位：㎡)

区 分		H29.3.31	H.29.4.1～ H.29.9.30	H29.9.30
		現在高	増減高	現在高
公共用財産	その他の施設	火葬場	6,698.50	6,698.50
		汚泥再生処理センター	11,763.00	11,763.00
合 計		18,461.50	0.00	18,461.50

##### (2) 建物（延床面積）

(単位：㎡)

区 分		H29.3.31	H.29.4.1～ H.29.9.30	H29.9.30	
		現在高	増減高	現在高	
その他の 行政機関	消防 施設	消防本部（南消防署）	1,917.10	48.90	1,966.00
		北消防署	2,241.85		2,241.85
		西消防署	1,219.96		1,219.96
		泉ヶ丘消防署	403.64		403.64
公共用財産	その他の施設	公用車庫	42.00		42.00
		火葬場	1,628.27		1,628.27
		汚泥再生処理センター	4,441.81		4,441.81
合 計		11,894.63	48.90	11,943.53	

#### 2) 物品

区 分		H29.3.31	H.29.4.1～ H.29.9.30	H29.9.30	
		現在高	増減高	現在高	
車 両	事務局庁用車	3		3	
	消防本部庁用車	37	±1	37	
備 品	事務局	ドラフトチャンパー	1	1	
		遺体保冷库	1	1	
	消防本部	防災エアータント	2		2
		高度救急処置シミュレーターⅡ型	1		1
		インパルス消火器具	2		2
		体力練成器具コンビネーションマシン	1		1
		大型油圧救助器具	1		1
		救助器具空気マット(エアーマイティ) v-10v-68	1		1
		救助用チタン三連梯子	1		1
		大型油圧救助器具3段ストロークラムシリンダー	1		1
		熱画像暗視装置	1		1
		救急患者監視モニター1式	1		1
		高機能消防指令システム機器一式	1		1
		アルミ製三連はしご	1		1
		高度救命処置用訓練人形 (レザシアンシミュレーター・Simpad)	2		2
		自動体外式除細動器一式	2		2
消防救急デジタル無線設備一式	1		1		
合 計		61	0	61	



## 3) 債権

(単位：千円)

区 分		H29. 3. 31	H. 29. 4. 1 ~ H. 29. 9. 30	H29. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
貸付金		0	0	0
合 計		0	0	0

## 4) 基金

(単位：千円)

区 分		H29. 3. 31	H. 29. 4. 1 ~ H. 29. 9. 30	H29. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
財政調整基金		265,312	33	265,345
合 計		265,312	33	265,345

## 5) 公債残高

(単位：千円)

区 分		H29. 3. 31	H. 29. 4. 1 ~ H. 29. 9. 30	H29. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
連 合 債	事務局	682,735	△ 85,476	597,259
	消防本部	851,538	△ 15,400	836,138
合 計		1,534,273	△ 100,876	1,433,397

## 6) 一時借入金残高

(単位：千円)

区 分		H29. 3. 31	H. 29. 4. 1 ~ H. 29. 9. 30	H29. 9. 30
		現在高	増減高	現在高
一時借入金残高		0	0	0
合 計		0	0	0

# 平成28年度 菊池広域連合一般会計決算概要

## 1. 決算の状況

平成28年度決算は、歳入総額が24億1千257万2千円、歳出総額が23億3千121万7千円であり、前年度に比べ、歳入総額で5.0%、歳出総額で3.4%の増となりました。

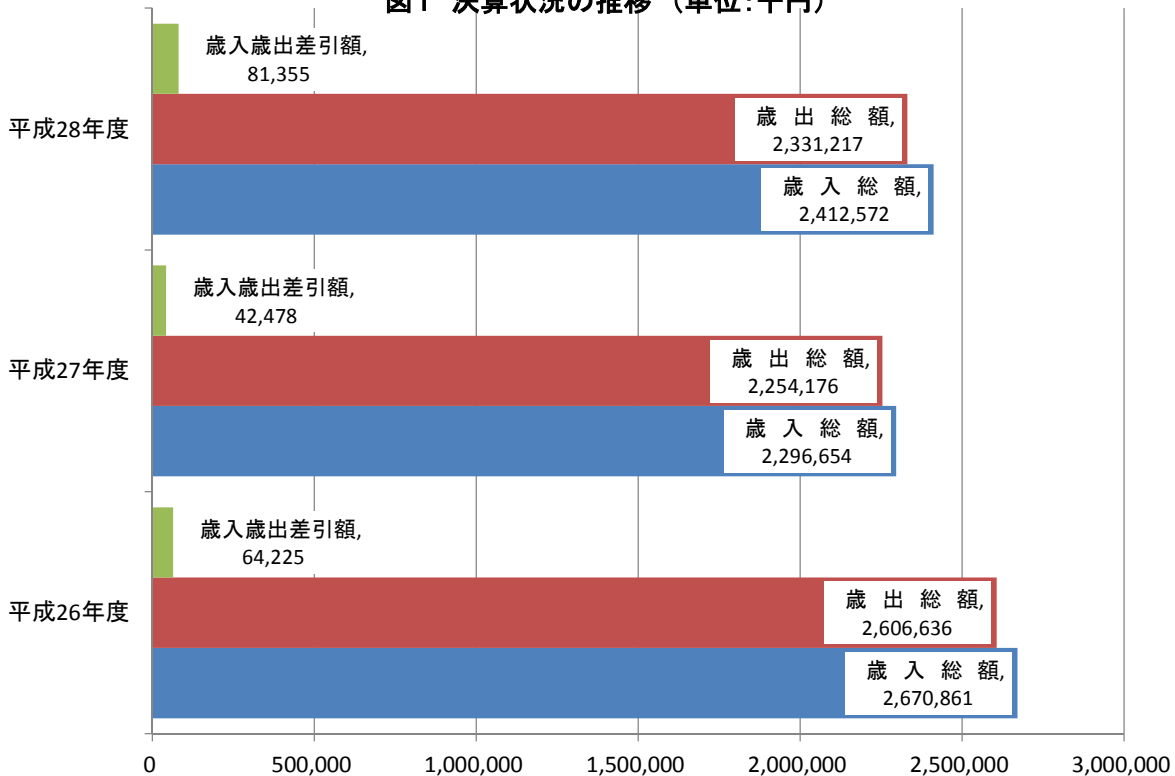
なお、歳入総額から歳出総額を引いた歳入歳出差引額(形式収支)は、8千135万5千円で前年度から3千887万7千円増加しており、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支では前年度から2千343万7千円増加しています。

平成26年度から平成28年度の決算状況の推移は以下のとおりです。

(単位:千円・%)

項目	年度			前年度比較	
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
歳入総額	2,670,861	2,296,654	2,412,572	115,918	5.0
歳出総額	2,606,636	2,254,176	2,331,217	77,041	3.4
歳入歳出差引額	64,225	42,478	81,355	38,877	91.5
翌年度へ繰越すべき財源	0	0	15,440	15,440	
実質収支	64,225	42,478	65,915	23,437	55.2
単年度収支	△ 22,306	△ 21,747	23,437	45,184	△ 207.8
実質単年度収支	34,790	△ 137,565	77,055	214,620	△ 156.0

図1 決算状況の推移 (単位:千円)



### ※用語の解説

「実質収支」………収支(歳入歳出差引額)から事業繰越等に伴い翌年度に繰り越すべき財源を差引いた額である。

\* 実質収支=形式収支-翌年度へ繰り越すべき財源

「単年度収支」………当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差引いた額であり、当該年度のみの実質的な収入と支出の差額を意味する。

\* 単年度収支=当該年度の実質収支-前年度の実質収支

「実質単年度収支」…単年度収支に、当該年度に措置された黒字要素(財政調整基金積立金、繰上償還)又は、赤字要素(積立金取崩し)を除外した場合、単年度収支が実質的にどのようなようになったかを検証するものである。

\* 実質単年度収支=単年度収支+財政調整基金積立額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩し額

## 2. 歳入の状況

前年度と比較すると、分担金負担金が1億3千913万7千円の増、主なものは、消防費として1億761万円の増によるものです。使用料及び手数料が301万1千円の増、主な要因は、火葬場使用料285万9千円の増によるものです。国庫支出金の75万8千円の減、主な要因は、障がい支援区分認定等事業費補助金が交付税に移行され、補助金が廃止されたことによるものです。また、県支出金が73万7千円の減、主な要因は、地域生活支援事業費補助金の減によるものです。財産収入は、預金利息の低下により8万7千円減(財政調整基金利子)、繰入金が9千339万5千円の減、主な要因は、不足の事態等に対応するための財政調整基金の残高を考慮し、構成市町からの負担金を増額したことによるものです。繰越金は、昨年度と同額としました。諸収入が7千694万8千円の増、主なものは消防救急無線デジタル化整備助成金(熊本県市町村振興協会)の増(7千612万円8千円)によるものです。連合債が820万円の減、主な要因は、消防救急無線デジタル化整備としての起債額660万円の減によるものです。

### 歳入決算の状況

(単位:千円・%)

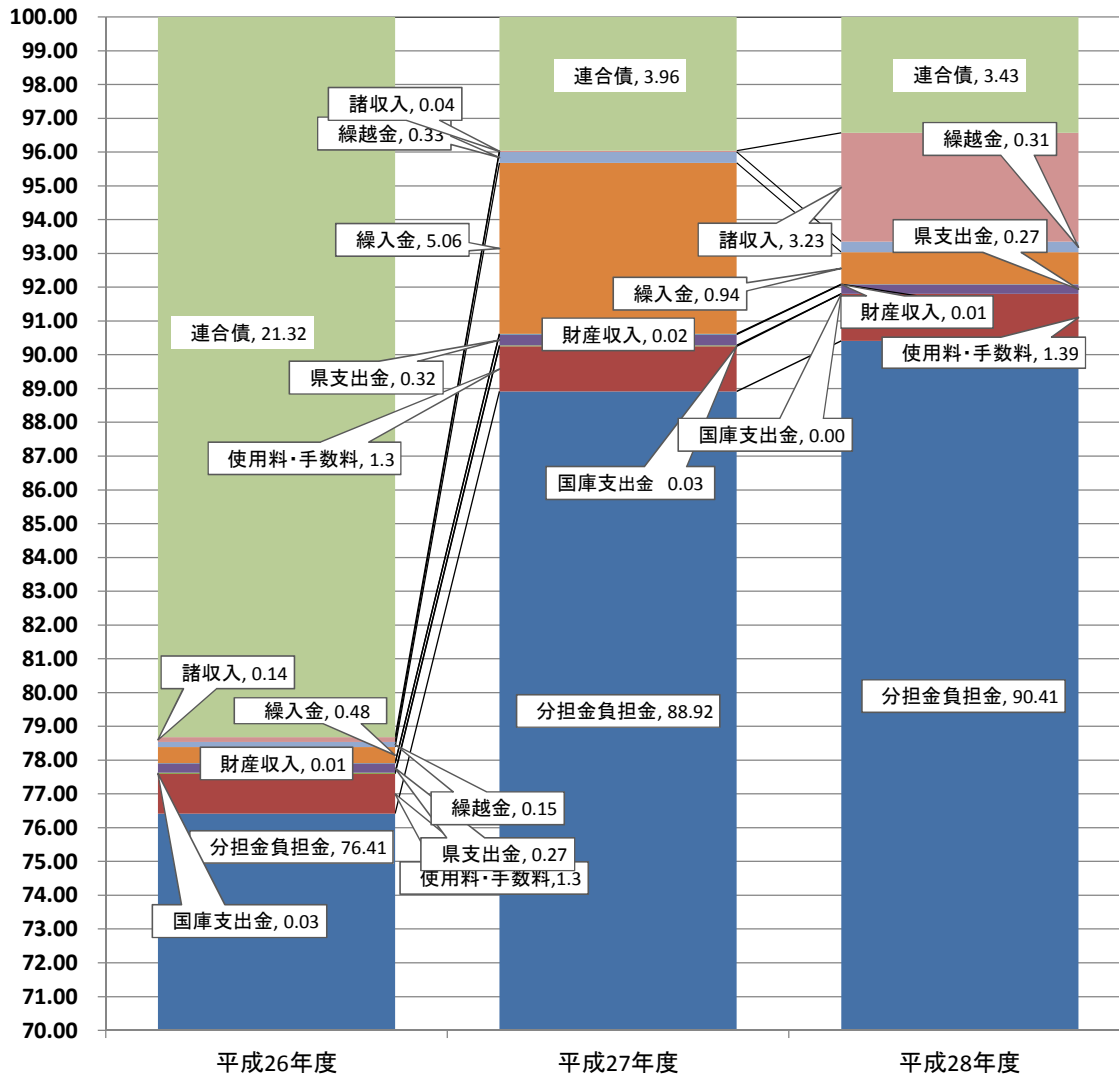
年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成26年度	① 平成27年度	② 平成28年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
分担金負担金	2,040,847	2,042,143	2,181,280	139,137	6.8
使用料及び手数料	31,517	30,563	33,574	3,011	9.9
国庫支出金	913	758	0	△ 758	△ 100.0
県支出金	7,340	7,325	6,588	△ 737	△ 10.1
財産収入	265	363	276	△ 87	△ 24.0
繰入金	12,749	116,181	22,786	△ 93,395	△ 80.4
繰越金	3,900	7,500	7,500	0	0.0
諸収入	3,830	920	77,868	76,948	8363.9
連合債	569,500	90,900	82,700	△ 8,200	△ 9.0
合計	2,670,861	2,296,653	2,412,572	115,919	5.0

#### ※用語の解説

分担金負担金 … 菊池広域連合を構成する市町(菊池市、合志市、大津町、菊陽町)からの負担金。菊池広域連合規約で事業ごとに負担割合を定めており、本連合の運営費の大半に充てられている。

使用料及び手数料 … 火葬場使用料、消防費手数料、行政財産使用料で構成される。うち、火葬場使用料と危険物施設許認可手数料で構成比の大半を占める。

図2 歳入決算構成比の推移(単位:%)



(注) 端数処理を行っているため、年度ごとの構成比の合計は100%になりません。

### 3-1. 歳出の状況(目的別)

目的別に前年度比でみると議会費については、196万1千円の減で、主な要因としては、正副連合長・議会議員合同研修(隔年実施)が実施されない年度による旅費の減です。総務費について、256万5千円増で、主な要因としては、昨年4月に発生した熊本地震にともなう時間外勤務手当の増です。民生費については、444万9千円増、主な要因として、派遣職員負担金の増によるものです。衛生費については、7千351万1千円減で、主な要因としては、4年に一度程度行っているし尿処理施設工事が昨年度実施されたことによる工事費の減によるものです。消防費については、796万7千円の増、主な要因としては、熊本地震による施設の災害復旧費の増によるものです。公債費は前年比1億3千753万2千円の増で、元金は、1億4千95万円(繰上償還76,128千円含む)増加し、利子は、341万8千円減となっています。

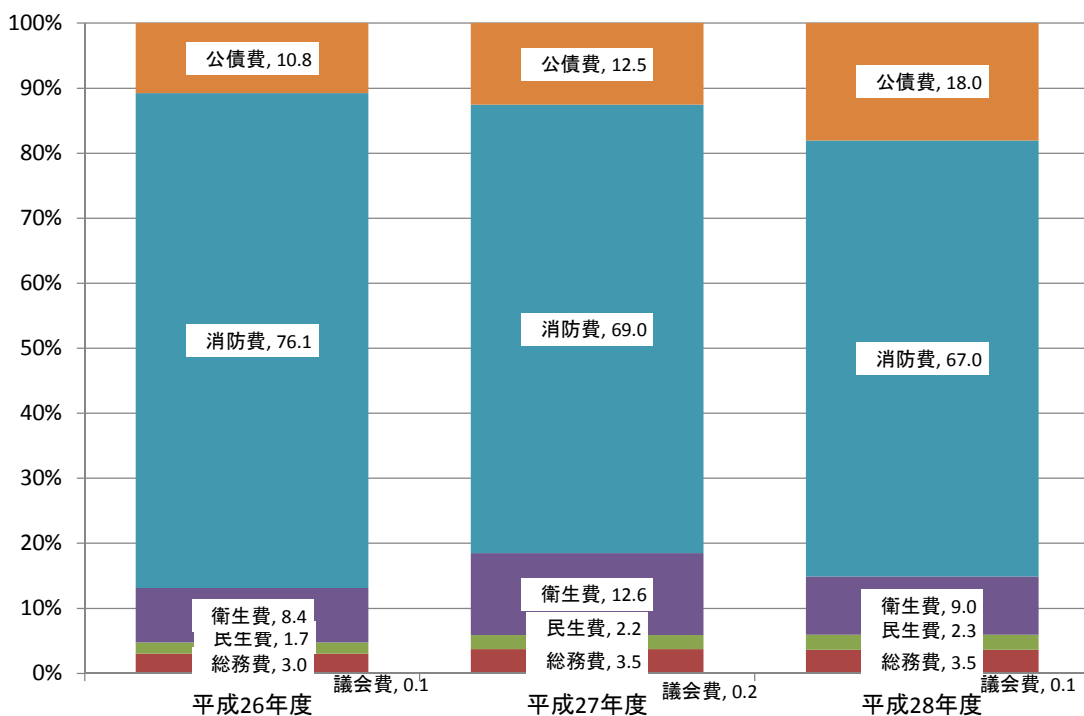
年度毎の目的別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

#### 目的別歳出決算の状況

(単位:千円・%)

項目	決算額			前年度比較	
	平成26年度	① 平成27年度	② 平成28年度	③=②-① 前年度比較額	③/① 増減比
議会費	1,647	3,577	1,616	△ 1,961	△ 54.8
総務費	77,974	79,978	82,543	2,565	3.2
民生費	44,359	49,482	53,931	4,449	9.0
衛生費	218,605	283,318	209,807	△ 73,511	△ 25.9
消防費	1,982,906	1,554,999	1,562,966	7,967	0.5
公債費	281,145	282,822	420,354	137,532	48.6
予備費	0	0	0	0	
合計	2,606,636	2,254,176	2,331,217	77,041	3.4

図3 目的別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



(注) 端数処理を行っているため、年度ごとの構成比の合計は100%になりません。

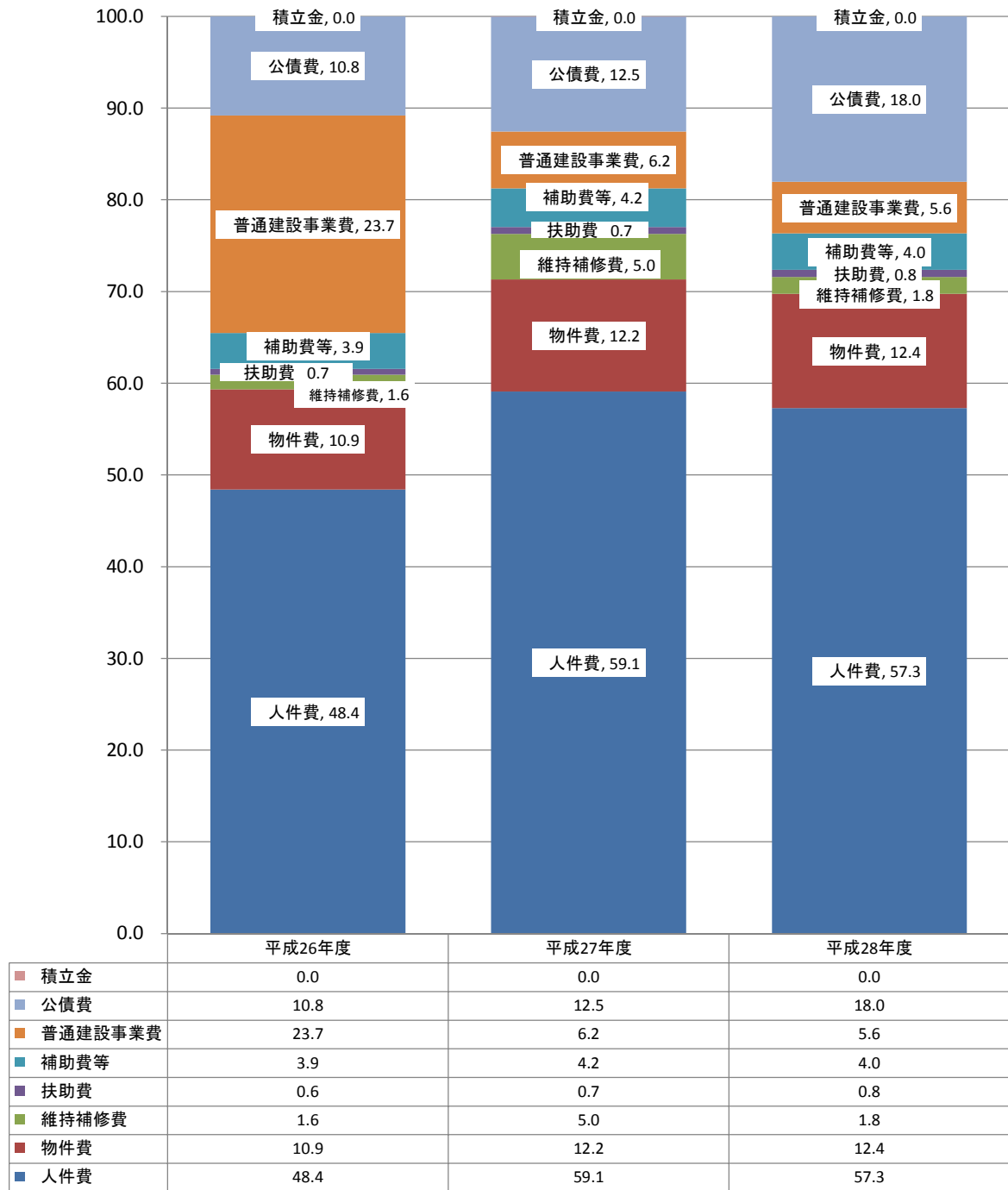
### 3-2. 歳出の状況(性質別)

人件費、物件費、扶助費、公債費は増加しています。人件費は、職員給の増、物件費は、衛生費の火葬業務委託料の増、扶助費は児童手当、公債費は起債償還元金の増によるものです。維持補修費、補助費等、普通建設事業費は、減少しています。維持補修費は、し尿処理施設工事費の減、補助費等は、庁舎維持負担金が、使用料として支出するようになったことによる減、普通建設事業費は、消防救急デジタル化工事の減です。平成26年度から平成28年度の性質別歳出決算の状況及び構成比の推移は、以下のとおりです。

(単位:千円・%)

年度 項目	決算額			前年度比較	
	平成26年度	平成27年度 ①	平成28年度 ②	前年度比較額 ③=②-①	増減比 ③/①
人件費	1,262,218	1,332,396	1,335,771	3,375	0.3
物件費	284,770	275,296	290,115	14,819	5.4
維持補修費	41,657	111,658	42,947	△ 68,711	△ 61.5
扶助費	16,315	16,840	18,300	1,460	8.7
補助費等	101,414	95,042	92,697	△ 2,345	△ 2.5
普通建設事業費	618,852	139,759	130,757	△ 9,002	△ 6.4
公債費	281,145	282,822	420,354	137,532	48.6
積立金	265	363	276	△ 87	△ 24.0
合計	2,606,636	2,254,176	2,331,217	77,041	3.4

図4 性質別歳出決算の構成比の推移(単位:%)



(注)端数処理を行っているため、年度ごとの構成比の合計は100%になりません。

#### 4. 基金の状況

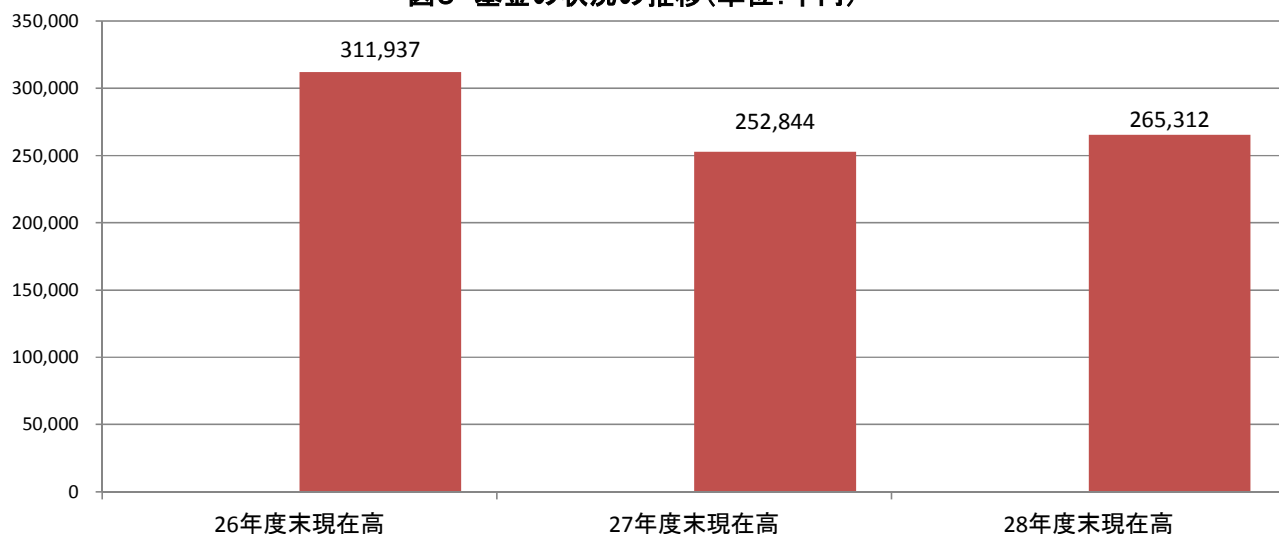
構成市町からの分担金負担金を軽減するため、平成28年度は2千278万6千円を財政調整基金から繰入れました。その結果、財政調整基金の平成28年度末残高は、2億6千531万2千円となりました。

なお、基金の状況の推移及び使途別の基金内訳は以下のとおりです。

(単位:千円)

基金の名称	設置の目的	26年度末 現在高	27年度末 現在高 A	平成 28 年 度			28年度末現在高 A+B-C+D
				歳出決算額 B	取崩・繰出 C	歳計剰余金処分 D	
財政調整基金	財源の調整	311,937	252,844	276	22,786	34,978	265,312

図5 基金の状況の推移(単位:千円)



#### 使途別の基金内訳

項 目	平成 28 年度 末 基金 高	出納閉鎖期間	平成29年5月末 (円)
管 理 費 等	0 円		0
職 員 研 修 費	1,681,431 円		1,681,431
介 護 保 険 費	13,946,034 円		13,946,034
障 害 者 福 祉 費	0 円		0
火 葬 場 費	29,447,205 円		29,447,205
し 尿 処 理 費	91,432,898 円		91,432,898
消 防 費	128,804,439 円		128,804,439
合 計	265,312,007 円		265,312,007

この期間の基金利息は含まない。



## 5. 連合債の状況

連合債残高は、平成28年度に新規発行を3件、8千270万円を行い、平成28年度末残高は前年比3億2千158万9千円減の15億3千427万3千円になっています。

内訳は、消防費の高規格救急自動車整備事業で施設整備事業債(一般財源化分)及び消防救急無線デジタル化整備工事、消防ポンプ自動車整備事業で緊急防災・減災事業債の借入を行いました。

連合債の利率別の構成比は、0.5%以下が51.8%、1.5%以下が47.5%、1.5%超2.0%以下が0.7%です。

年度毎の連合債の状況と平成28年度末現在高の利率別の構成比は、以下のとおりです。

(単位:千円)

起債区分	26年度末 現在高 A	27年度末 現在高 A	28年度末 発行額 B	平成28年度元利償還額			28年度末現在高 E=A+B-C	
				元金 C	利子 D	合計 D		
政府資金	一般廃棄物処理事業債	944,556	767,564		179,604	10,617	190,221	587,960
	財源対策債	151,951	123,572		28,797	1,707	30,504	94,775
	一般単独事業債	178,586	149,772		28,814	754	29,568	120,958
共済等	一般補助施設整備事業債	123,844	98,006		25,838	717	26,555	72,168
	施設整備事業債(一般財源化分)	69,264	87,048	8,400	10,508	234	10,742	84,940
都道府県貸付金等		70,000	70,000				0	70,000
緊急防災・減災事業債		490,100	559,900	74,300	130,728	2,036	132,764	503,472
合 計		2,028,301	1,855,862	82,700	404,289	16,065	420,354	1,534,273

### 平成28年度末現在高の利率別構成比

